

国立大学法人九州大学における次世代育成支援対策行動計画

I 目 的

本学では、新たに定められた「九州大学の男女共同参画」において、基本方針のひとつに「仕事と生活の調和・修学及び就業環境の整備」を掲げ、教職員が仕事と子育てを両立できるよう積極的な取り組みを行っている。

全ての教職員にとって、仕事と子育ての両立が可能となるような働きやすい環境をつくとともに、仕事と生活の調和を図ることを目的として、次のような行動計画を策定する。

II 計画期間

平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間

III 推進体制

本行動計画を円滑に実施し、計画期間内に目標を達成するために、男女共同参画推進委員会及び男女共同参画推進室において実施状況等について把握・検証し、必要に応じて行動計画の見直しを含めた措置を行う。

IV 計画内容

1 子育てと仕事が両立できる環境の整備

目標1 学内保育施設の運営及び利便性の向上を図る

<対策>

- 平成21年度に開設した学内保育施設について、利用者のアンケート調査や運営委託業者からの意見聴取などを定期的に実施する。
- アンケート調査の集計結果及び入退園の実績、運営経費の状況などを総合的に勘案して運営の改善を図る。
- 病児保育など保育の種類の拡充について検討する。

目標2 出産育児にかかる休業及び休暇取得を促進するとともに、職場復帰しやすい環境整備に努める

<対策>

- 妊娠、出産、育児の一連の流れにおいて取得可能な育児休業及び特別休暇について、リーフレット等を作成し、周知する。
- 父親の育児参加の情報を紹介し、男性の育児参加についての意識の醸成を図り、育児休業などの取得を促す。
- 妊娠、出産、育児にかかる期間を教育・研究業績の停滞期間とはとらえない評価の方法について検討し、育児休業を取得しやすい環境の整備を推進する。
- 各キャンパスにおける休養室の整備に努める。

目標3 子育て支援策の拡充を図る

<対策>

- ・ 現在の支援制度の利用状況などを調査し、その結果を反映して、制度の改善および充実を図る。
- ・ 学童保育・ベビーシッターなどに関するニーズを把握し、検討する。

2 働き方の見直しのための労働条件の整備

目標1 時間外勤務の実態を調査し、長時間労働の縮減を図る

<対策>

- ・ 時間外勤務の実績を調査し、人員配置の見直しや業務の改善・見直しを図る。
- ・ 時間外勤務縮減のための取組や各部署毎に実施している定時退勤日について、さらに確実に実施するよう周知し、各職員の意識向上を図る。
- ・ 会議はできる限り勤務時間内で終了できるよう設定し、勤務時間外会議の自粛に努める。

目標2 年次休暇の取得を促進する

<対策>

- ・ 休暇取得計画表を作成し、年次休暇取得を促進する。
- ・ 計画的な年次休暇の取得や夏季の特別休暇と組み合わせた休暇の取得を奨励する。

目標3 ワークライフバランスに関する意識啓発を図る

<対策>

- ・ 広報ツールを活用した情報提供を行うと共に、セミナー・シンポジウム等を通じて、教職員の意識啓発を図る。